

《彙報》

【千葉大学文学部日本文化学会記録】

第二三回大会（二〇二二年九月一七日）ZOOMによるオンライン開催）

〈研究発表〉

義太夫節成立期の古浄瑠璃——宇治加賀掾の動向を中心に

千葉大学人文科学研究院准教授 田草川みずき 氏

〈講演〉

近松門左衛門、三つの視線

国文学研究資料館名誉教授 武井 協三 氏

【二〇二二年度 千葉大学大学院人文公共学府 博士論文題目】

周 希瑜 日本の中国占領地における文学と記憶

横手 拓治 唐木順三——あめつちとともに

【二〇二二年度 千葉大学大学院人文公共学府 修士論文題目】

市川 春菜 宝塚歌劇におけるフランス革命の変容と発展

王 悦 東福寺聖一派と日中文化交流——鎌倉時代の聖一派入宋僧を中心に——

榊 恵人 村上龍論——『コインロッカー・ベイビーズ』に見る「自己批評性」とその解釈——

【二〇二二年度 千葉大学文学部人文学科日本・ユーラシア文化コース 卒業論文題目】

浅沼佳奈恵 「ぬ」における音象徴の考察——オノマトペとネーミングの観点から——

飯野 喬久 現代における「神饌」

石井美彩妃 現代の大学生における化粧文化

和泉 真理 大江健三郎「空の怪物アグイー」論——「ほく」が継承する《時間》——

今坂 晏慈 肉食文化とその地域性——現在の食肉消費の統計から——

内丸 楓也 「(V)Nする」という形をとる動詞と「○○る」という形をとる動詞のバリエーション——インターネットにお

る使用状況とその使い分け——

衛川 由欣 海南語文昌方言話者間における普通話の使用状況と音声的特徴

大西 輝昇 新潟県の鯨食文化の現在

岡崎 涼香 首都圏の現代カフェ文化と個人カフェの生き残り

奥野真衣子 万葉集の植物——心情表現にもたらす効果について——

加藤 西豪 満洲語文語の動詞過去接尾辞における語幹との対応関係について

小金井明音 若者向けファッション雑誌に見える言語的特徴

坂本 桜 坂口安吾「青鬼の禪を洗う女」論

佐藤 初音 近世文芸における日本の飲酒文化

佐藤 楓子 浜松方言に関する研究——強調の接頭辞「ど」と「ばか」——

佐藤 雅馬 宮崎県日向地域方言における確認要求表現について

島田 真衣 工芸品における和歌——漆工芸の意匠に見られる絵柄と和歌の隔たりをめぐって——

田川 悠 村上春樹作品における親子関係について——『騎士団長殺し』を中心に——

田中 菜々 『創られた伝統』としての恵方巻と現代の若者における認識

富田 祐梨 二葉亭四迷著『浮雲』におけるオノマトベの研究

中澤 晶 奈良県北部方言アクセントについて

野中 優衣 後鳥羽院と琵琶

平川 歩夢 川端康成『古都』論

藤井 梓 山東京伝の広告にみられる技巧——近世期の広告の受容と展開——

三浦 颯月 創作と現代日本の妖怪像

水谷 祥 文学教材としての「山月記」の意義

山崎 彩乃 震災遺構を巡る諸問題とその活用について——東日本大震災被災地における事例と考察——

山下 紗緒 女性と仏教——出家から見る女性の信仰心——

芳岡 勝輝 後鳥羽院と『新古今和歌集』の撰者

藁科 美玲 坂口安吾の女性像について

匿名希望

「わきまえる」文化論——新聞記事の事例から考える——